

## セーフコミュニティの再認証の内定について(報告)

栄区は、WHOが推奨する国際認証セーフコミュニティを取得し、行政・関係機関・区民が一体となって安全・安心のまちづくりを進めています。6月15日(金)から17日(日)までの3日間、国際セーフコミュニティ認証センターによる現地審査を実施し、再認証の内定を得ましたのでご報告します。

### 1 現地審査概要

- (1) 会場：栄区役所、豊田小学校
- (2) タイムスケジュール

6月15日(金)	区長表敬訪問、区内視察(本郷ふじやま公園での日本文化体験)、開会、栄区概要、傷害サーベイランス分科会発表
6月16日(土)	各分科会発表(こども安全対策、スポーツ安全対策、児童虐待予防対策、交通安全対策、自殺予防対策)、交流会(審査員、日本セーフコミュニティ推進機構、連合町内会長、分科会座長、栄区議員団、警察署長、消防署長、認証都市職員、栄区職員等が参加)
6月17日(日)	活動視察(豊田小学校地域防災拠点訓練)各分科会発表(災害安全対策、高齢者安全対策、防犯対策)、審査員講評

- (3) 審査員：デイル・ハンソン(Dale Hanson)先生、チョ・ジュンピル(趙 竣必)先生
- (4) 視察者：6月15日～17日の3日間で延べ151人(国内他都市からの視察者46人、栄区関係者88人、その他17人)
- (5) その他：現地審査の様子は、「栄区なう!TV」でも放送されます。  
放送日は7月5日(木)18:00～18:20「デイリーニュース」内の約7分間です。  
(ケーブルテレビJ:COM南横浜・横浜 J:COMチャンネル地デジ11ch)

### 2 主な審査員講評内容

- ・ 認証取得のための7つの指標(※)をきちんと満たすことができている。自信を持って活動を続けるとともに、他の都市へも発信してほしい。
- ・ 認証取得時から5年間、単に同じ取組を継続するだけでなく、振り返りを行うことで取組を見直し、変化を生み出すことができている。
- ・ 課題に対する取組全体を俯瞰し、必要な取組を行えている。既存の取組についても、一般区民が参加しやすいようにするために栄区としての工夫がみられる。
- ・ 行政、地域住民それぞれが双方向で取組を進めることができている。特に地域住民は栄区の専門家なので、地域の課題に対し声をあげ、取り組んで欲しい。
- ・ 今後は、分科会同士の連携も進めて欲しい。
- ・ 啓発活動による意識や行動の変化はもちろん、環境の改善という視点も重要。環境の改善には、予算や権限など様々な制約があるが、分野横断の組織をいかし権限のある組織へアプローチをしてほしい。

※参考：セーフコミュニティ認証取得のための7つの指標

- ①分野の垣根を超えた協働を基盤とした推進組織を設置する
- ②両性・全年齢、あらゆる環境・状況をカバーする長期プログラムを継続的に実施する
- ③ハイリスクの集団・環境および弱者を対象としたプログラムを実施する
- ④根拠に基づいた取組を実施する
- ⑤外傷が発生する頻度とその原因を記録するプログラムを実施する
- ⑥プログラムの内容・実施行程・影響をアセスメントするための評価基準を設定する
- ⑦国内外のセーフコミュニティネットワークへ継続的に参加する

### 3 現地審査の様子



【区長表敬訪問】



【区内視察】



【分科会発表（自殺対策）】



【交流会】



【活動視察（豊田小学校）】



【活動視察（豊田小学校）】



【分科会発表（災害安全対策）】



【審査員講評】



【審査員とアドバイザー】



【再認証内定を記念して…！】